

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	岩手	(2)記載者氏名:	松田和弘	会員番号:	9381	事務局整理記入欄	岩手 - 1
分水嶺区分	E121ヒヤ潟～E123貝吹く峠～1026高地	(3)山行日:	2004年	6月	20日	(4)天候	雨

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

村上 力	4648	中谷 充	7332				
音石康一	7370	松田和弘	9381				
中屋重直	11180	内山達雄	11612				
菅原敏夫	11765	熊谷英雄	13416				
高木 弘	13418	平山一宏	13940				
平山順子	13650						
計			11	計			0

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	ヒヤ潟 仙岩峠 貝吹岳 1026高地(ヒヤ潟までピストン)												
アプローチ:	線を盛岡から西進し、国見温泉方面の旧国道に右折する。旧国道と国見温泉との分岐で通行止め。旧国道をさらに進みヒヤ潟												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	国見温泉	国見温泉								7:55			
分水嶺到達点E121	ヒヤ潟	国見温泉	140	47	37.0	39	42	45.9	842		8:40		1
	助小屋跡地	国見温泉	140	48	5.9	39	42	38.0	839	8:56	9:00	A-1	2
E122	仙岩峠	国見温泉	140	48	35.7	39	42	26.9	889	9:15	9:25	A-1	3
E123	貝吹岳	国見温泉	140	48	31.9	39	42	6.6	993	9:50	9:57	A-1	4
	1026高地	国見温泉	140	48	56.8	39	41	27.4	1,027	11:33	11:44	B-2	5
	仙岩峠	国見温泉								13:40	13:50		
分水嶺離別点	ヒヤ潟	国見温泉								14:18			
歩行終了点													
											総歩行時間(休憩時間を除く):	5時間31分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E123	貝吹岳	3	南	良好	

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

- ヒヤ潟の西岸に、旧国道46号線の「国道仙岩峠貫通記念碑」(建設大臣河野一郎揮毫、碑の裏に昭和39年7月18日)。ヒヤ潟上空およびその北側に3本の高圧送電線。ヒヤ潟南西岸の水準点標石は笹藪の中と推定され、今回は未確認。
- 林道の北側に面して「助小屋跡地」(田沢湖町教育委員会、平成3年7月11日)の石柱。
- 仙岩峠北側間近の小ピークに盛岡と秋田両藩の藩境塚があったとされ、「従是南西秋田領」の石柱が現存。正方形2段の台座上に、縦横約24 cm角、120 cm高。仙岩峠から貝吹岳方向の鞍部に高圧送電線の鉄塔。「E125仙岩トンネル上」はE122仙岩峠に同じ。
- 山頂から北側間近の肩に2基1対の電波反射板。
- 山頂に2基1対の電波反射板。そばに「地森山反射板」(建設省東北地方建設局)の看板(地形図の地森は、これより南東に約1 km)。

(9)水および植生に関連した特記事項

(10)その他の特記事項

仙岩峠は、岩手側から秋田街道を西進して奥羽山脈に達する的方向(まどがた)に位置する。江戸時代までは、そこからほぼ分水嶺に沿って北西にたどり国見峠に達した後、秋田側に下った。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: